

お隣の男の子が可愛すぎて
我慢できないので
えっちな悪戯
しちゃいます。



お隣の男の子が♡可愛すぎて
我慢できないので
えっちな悪戯
しちゃいます。



○この本でえっちなことをする人たち○



○結衣(ゆい)ちゃん○

今作のショタコンお姉ちゃん。
マンション暮らしで隣の部屋に住む男の子のみちる君のことを
彼が生まれたときから狙っている(当時7歳)

昔はみちる君と一緒に風呂に入ったりなどもしていたが、
当時は性知識に乏しく、もっとガン見したり悪戯しておけば
よかったと後悔している(病気)

あまりにみちる君が純真無垢であるため、嫌われるのが怖くて
手を出すに出せず、「お隣の優しいお姉ちゃん」として接して
きたが、その我慢の限界がとうとう訪れようとしている。
(次のページから)



○みちる君○

まだまだお母さんに甘えたい盛りの男の子。
普段から両親の帰りが遅い環境であり、よく結衣ちゃんに
遊んでもらっている。
本当のお姉ちゃんのように接しているというか、みちる君の中
では実の姉という認識。

甘いものが大好きで純粋無垢。
天使である(結衣ちゃん談)





うん
結衣お姉ちゃん
ありがとー♪

もじ

もじ



チョコドーナツ
おいしい？



みちる君の好きな
オレンジジュースも
あるからねー

私の部屋でお行儀よく
ドーナツ食べてる天使は
うちの隣に住んでる
みちる君っていう男の子で

みちる君はほんとに
食いしんぼなんだなあ♡

ご両親がうちの家族と
仲がいいので、
よくこんな感じでこの子が
赤ちゃんの頃から遊んで
あげたりしていたり



ほら
ほつぺに食べかす
ついてるよ

もじ

みちる君が本当の弟
だったらしいのに、
なんて親たちには
言ったりもするけど

全部食べちゃって
いいからねー



正直なところ、
はちゃめちゃんに
犯したいです。



















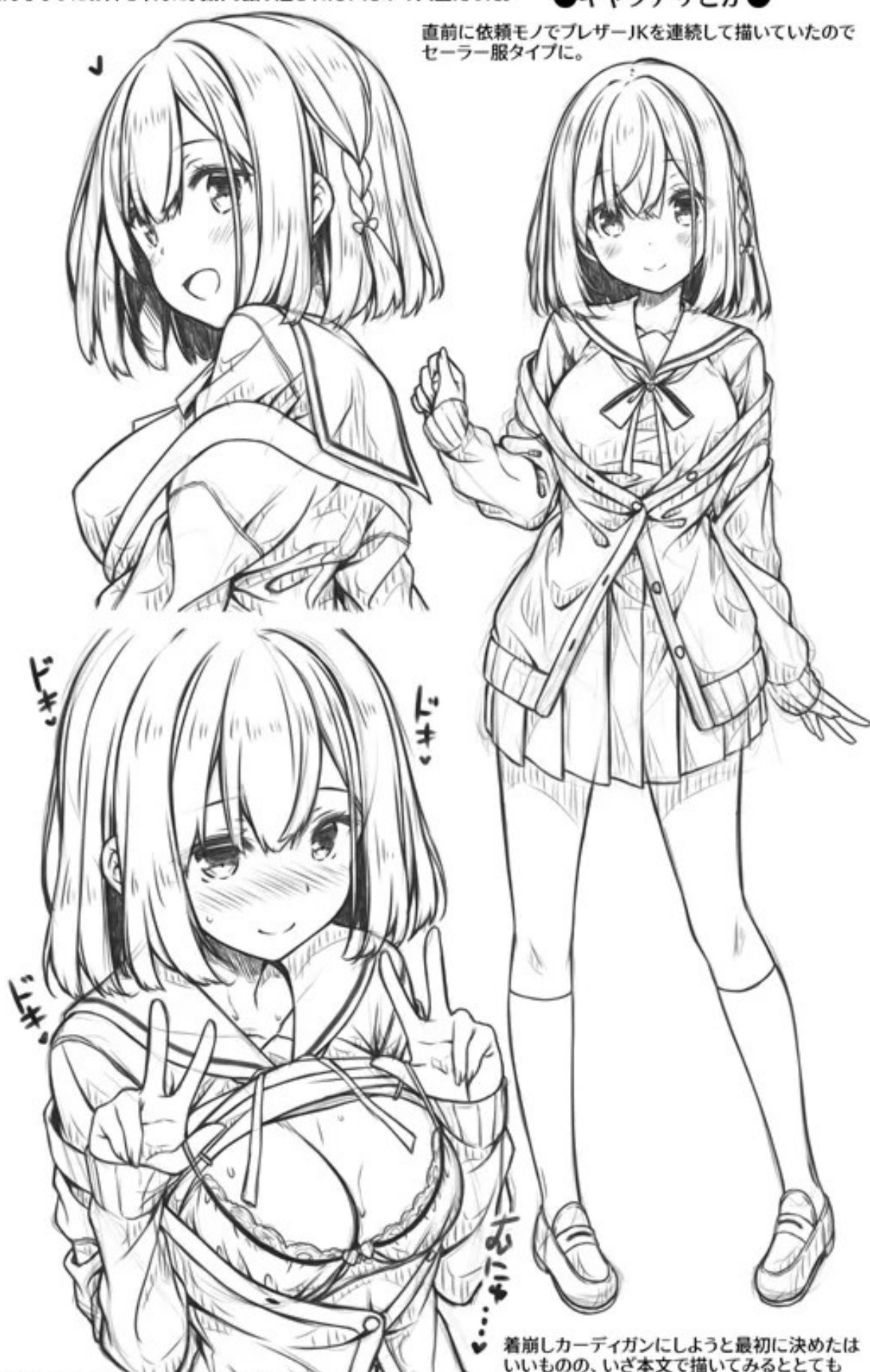




こんなふうにお姉ちゃんに笑顔で振り返られたいだけの人生だった。

●キャラデザとか●

直前に依頼モノでプレザーJKを連続して描いていたのでセーラー服タイプに。



お姉ちゃんをママとっていいのよシーンのイメージ画。
本編のプラジャーは……うん……まあ……うん(小声)

着崩しカーディガンにしようとして最初に決めたはいいものの、いざ本文で描いてみるととても作画的に厄介な代物でしたね……(反省)

波

最初はブレザータイプのデザイン、というか過去作のキャラと同じ学校に通っている設定でしたが、お話的に過去キャラを登場させる余地がなかったので……



一応、今回は下着のデザイン画なんかも用意しました。
ばんつは今にして思えばこのままでもよかったかも……(反省)

○あとがき○

ラフからばんつのデザインが変わっています。
こっちはなんとなくおねショタ本としてはエロすぎました、こんにちは(挨拶)

今回はおねショタメインになってからの総集編と同時頒布なので、
新刊の方も意味原点復帰というか、
「自分はおねショタのどういうところが好きなのか」
について向き直り、そこで挙がった要素だけで描いた一冊となります。

早い話が、
・近所に住んでいる優しくて可愛いKのお姉ちゃん
・よく遊んでくれる
・実はこちらの貞操を狙っている
ざっくり挙げると、こういうのが自分の中の一番の理想のようです。

前にもこういうシチュの本を描いたことあったなあ……と
ネーム段階で思ったりもしましたが、だからといって
設定をややこしくしたりして上記の要素から外れてしまつては
意味がないと思ったので、開き直ってそのまま突っ走りました。

やたらと甘やかしてくれるようなセリフとかも好きなので、
今回はそういうセリフもやや多めです。
バブみ要素を強くしすぎると、それはそれでちょっと自分の理想とは
離れる感があったので、そこは控えめにしていますけども。

あ、このへん乳首があるんで気を付けますね。
なので、自分の中のおねショタの集大成……というところでも
またちょっと語弊がありますが、
「ワイ、こういうのが好きなんすわ……(はにかみ)」
みたいな一冊にはなったのではないかと
思います。

キャラ設定的に、男の子は純真無垢な感じが
好きです。
まだまだ無邪気に年上のお姉さんに甘えられる年頃、みたいな。

で、女の子側はそれを優しく見守りつつも、実ははちゃめちゃこみ上げる
性衝動を抑えつけてたりするとベスト。
まさにこの本の二人がそんな感じの設定なのですが、
やっぱり過去作でこういうキャラ配置で一冊やってるので、
うーん……という感じではあるんですけども。
でもまあ本当に好きで、こういうキャラで
描いてると筆が乗るのは間違いないというか。

それはそれ、これはこれという感じで、
読者の皆様にも楽しんでいただけたなら
幸いです。
あ、このへんばんつあるんで気を付けますね。

おねショタも握り下げれば結構色んな
パターンがあり、あれこれと思いつくネタは
まだあったりはするのですが、
次からはちょっとおねショタ一旦離れて、
おねショタをやり始める以前からあって
お蔵入りになってるネタを消化して
いくかもしれません。

以前、ラフィラスト本でちょっと出した
お姫様とメイドの百合本とか。
わんわんにやーにやーしか喋れない
獣耳娘とか。
来年のGWコミケでは(受かっていれば)
どっかはやりたいなと思ってます。

夏コミもないですし、両方という選択肢もありますが、
今からちょっとずつ作業始めれば決して無理では
ないんですよ……(虚ろ目)

そんな感じで、
総集編も出してまたひとつの節目を迎えた当サークルですが、
今後ともよろしくしていただければ嬉しいです。

それでは、また来週。

12月某日 RYO

お隣の男の子が♡可愛すぎて
我慢できないので
えっちな悪戯
しちゃいます。

2019年12月30日 発行

印刷会社：PICO様

発行：没後

著者：RYO

URL : <http://www.vesta.dti.ne.jp/~mayaul/>

MAIL : ryo5120@gmail.com

本書の複製・複写・インターネットへのアップロード等を固く禁じます。
乱丁・落丁本については、上記の連絡先までご連絡下さい。





